

学校法人常磐大学 広報誌 TOKIWA POST [トボス]

Topos

vol.72
June 2014

[特集] 新校舎完成

新校舎で、新生活。



学生の日常生活をご紹介します!



パンの人気ランキング...P.4



大学・短大のサークル紹介...P.3



学食メニューの人気ランキング...P.4



常磐大学高等学校

新校舎で、新生活。

新たな学び舎から、新たな一歩が始まります。

環境や安全に配慮した最新の設備のなか、自ら学び、課題を解決する力を養うことができます。

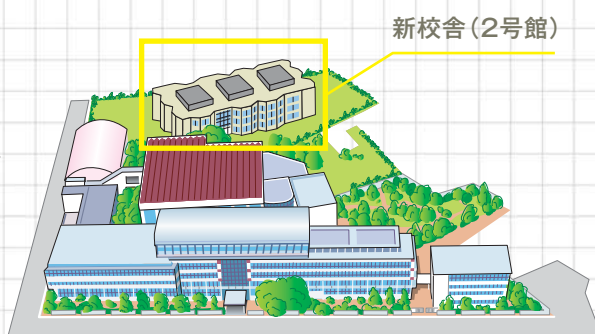
2014年4月、新学期から使用を開始した新校舎は、生徒たちが自ら学び、自ら課題を発見し、解決する力を身に付けられるよう、さまざまな工夫を施しました。校舎の中央部分に配した開放感ある吹き抜けからは、教室や廊下にいつも自然な光が降り注ぎ、フロア面を半層ずらしたスキップフロア構成とあわせて、見通しの良い、コミュニケーションを活性化させる空間をつくり出しています。空調システムやLEDライト、人感センサー照明など、省エネルギーと環境にも配慮した建物は、地震にも強い耐震構造。安全に快適に過ごせる教育環境を整えた新校舎で、のびのびとした学びを実現し、生徒一人ひとりのさらなる成長を目指します。



東日本大震災による被害は大きく、本校でも5号館と6号館が取り壊されることになりました。



きっかけは震災でしたが、校舎はより快適で安全な教育環境へと生まれ変わること。



新校舎(2号館)



廊下に、自習や相談、PC作業などが可能なカウンターを設置。



プロジェクターの投影が可能なガラス黒板。



吹き抜け最上部の換気窓から自然な風を有効利用。



窓から降り注ぐ多方面からの自然光で、省エネルギーに配慮。

自ら学び、課題を解決する力を伸ばす

Learning Commons Zone

3つのゾーニングで
自主性を育てます。

「ラーニングcommonsゾーン」「ICTスキルゾーン」「フォーラムゾーン」の3つのゾーンが有機的に連携し、生徒の自主性や活気ある活動を誘発します。自ら学び、課題を発見し、仲間と協力して課題の解決を目指す生徒を育てる空間設計です。



Step 3: Share

● **プレゼンテーションルーム**
自分たちの考えを発表する場です。自分たちの意見をまとめ、人にわかりやすく伝える方法を、体験を通して学ぶことができます。



Step 2: Discuss

● **グループスタディールーム**
友人たちとのディスカッションを通して、視点の多様さを知り、互いの意見を合わせることで一人では到達できない結論を導くことができます。



Step 1: Learn

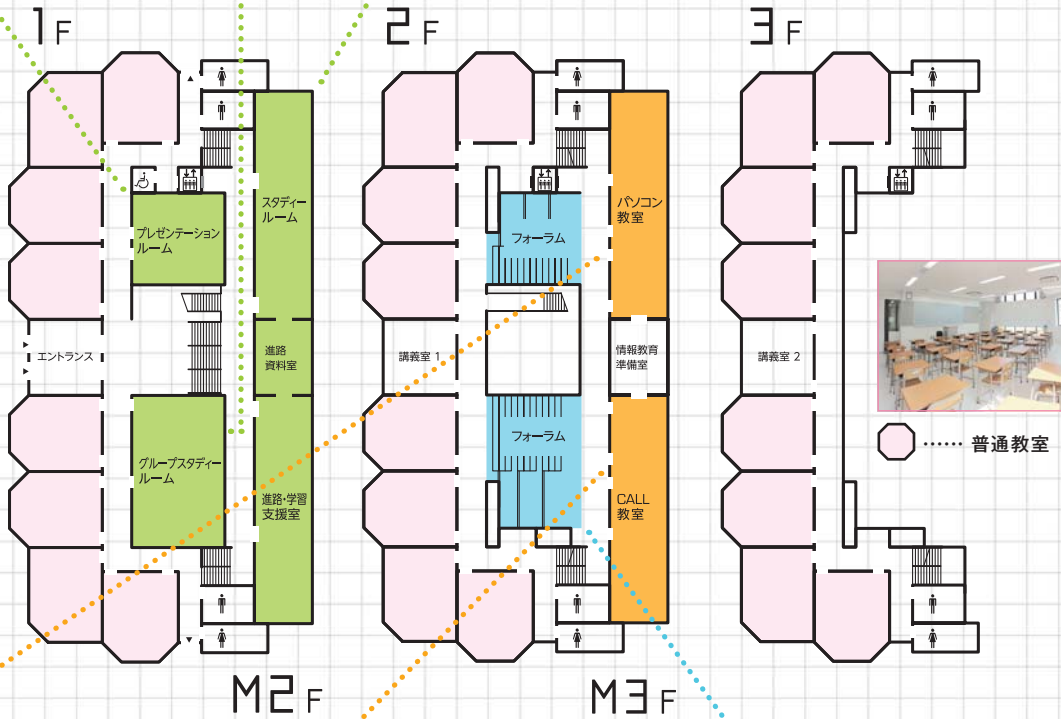
● **スタディールーム**
スタディールームは自習スペースです。キレルデスクとパソコンも常備し、書籍やインターネットからの情報をインプットして、知識を蓄えることができます。

Impression!

● 生徒に聞いてみました
鈴木 千裕 常盤大学高等学校2年
すべてが白くて、構造的にも今までの学校とは違うな、というのが第一印象です。一番気に入っているのは話し合いをしながら学習できるグループスタディールームです。カフェのような雰囲気でくつろげるフォーラムも、みんなが自然に集まってくる場所になりそう。新校舎でのこれからの2年間で、公共の場で過ごしているという意識を持って学び、社会に出ても恥ずかしくない態度を身に付けたいと思っています。



● **パソコン教室**
授業や自習に活用できるパソコン教室。情報処理能力などICT (Information and Communication Technology) スキルを高めることができます。



..... 普通教室

情報の検索力や発信能力を高める ICT Skill Zone



● **CALL教室**
PCやネットワークを使った語学教育を行う教室です。生徒用パソコン40台、AV機器、プロジェクターなどを完備、世界に向けて情報を発信する力を養うことができます。

● **フォーラム**
フローリング張りや階段状のフォーラムは生徒同士の交流や、生徒と教職員とのコミュニケーションを活性化させる集いの場、身に付けた力を表現・発信する場としても利用できます。また、無線LANの環境を整え、ノートPCやタブレットを活用しての学習が可能です。



自然の光の中で集い、語らう Forum Zone





出演依頼をお待ちしています。



ジャグリングサークル 「1010(イチゼロイチゼロ)」

「ときわ祭(学園祭)」でのステージ発表のほか、依頼を受け、大学周辺の福祉施設や商店街などにボランティアとして出演しています。ジャグリングは人の目を惹きつけるもの。練習はつらいときもありますが、観ている人の笑顔を見ると、それも吹き飛んでしまいます。みんなで練習を積んで技術を高め、もっと多くの人に笑顔を届けたいと思っています。



夢中になれるものがある学生生活は きっと、しあわせです。

育ってきた環境や専門分野の異なる仲間とともに汗を流し、力を合わせて課題を乗り越える。サークルや部活動は、そうした経験を通して人間的な成長を目指す場でもあります。常磐大学・常磐短期大学の活発なサークル活動をご紹介します。



通常のバスケットより激しい面もあるスポーツ。

車いすバスケットボール愛好会「いすバス」

「いすバス」は車いすバスケットボールの略称です。健常者と障がい者がともに練習し、競技できるのが「いすバス」の魅力です。普段は9月に行われる大学選手権で優勝することを目標に体育館などで練習しています。「いすバス」の魅力を多くの人に知ってもらうため、小学校などでの講習会やイベントのボランティアなどにも参加しています。



自転車で走る楽しさを思い出そう。

自転車部

主にレースやイベントに参加しています。これまでは競技志向の活動が中心でしたが、今後はツーリングなどみんなで楽しむ活動も企画する予定です。自転車競技の魅力は自分の限界を教えること。それから自分の知らない場所に、自分の力で行って、その土地の風景やおいしいものを楽しむことができることです。



表情がどんどん豊かになることがポイント。



手話サークル「ベルボア」

手話はいろいろな人と話せるようになることが魅力。また、手話は表情が大事なので、学んでいくうちに表情が豊かになることもポイントです。好きな曲に手話を当てはめる「手話コーラス」は「ときわ祭」のステージで発表しています。歌詞の通りではなく自分で解釈して作るため大変ですが、やりがいがあり、知っている曲の新たな面も発見できます。

委員会

● ときわ祭実行委員会

毎年秋に開催する「ときわ祭」がスムーズに進行し、盛り上げられるよう、企画を考え、団体と連携し、広報を行うなど、日々準備をしています。

体育会

● 硬式庭球部

メンバーのほとんどが初心者からのスタート。平日は常磐大学のテニスコートで練習しています。最終的には大会に出場して、勝つことが目標です。

● バドミントン部

日々の活動は試合形式の練習が主。また、4泊5日の合宿を年2回実施し、内容の濃い練習を行っています。リーグ戦、選手権での勝利が目標です。

● 弓道部

大学から弓道を始めた人も多く、決して敷居の高いスポーツではありません。それぞれが各種大会に向けた目標を立て、実のある練習をしています。

文化連合

● ときわ漫画研究会

漫画やアニメが好きなメンバーが集まって、部誌の制作やイラストの展示をしたり、コミックマーケットに参加したり、いろいろな活動をしています。

● 美術部

美術部では、秋に行われる「ときわ祭」での展示に向けた制作を主な目標として、部員一人ひとりが自由な作品制作を行っています。

● ネットラジオサークル「Loud Crowd Poser」

ネットラジオをはじめ、水戸のFM局「FMはるるん」と協力して番組を作成したり、アナウンスの大会にも出場したり、幅広く活動しています。

同好会

● バレーボール同好会

毎週木曜日の放課後、みんなで楽しく練習しています。そのほか、夏休みの合宿、ときわ祭など楽しいイベントも盛りだくさんです。

● 軽音楽サークル「ALL ROUND MUSIC」

サークル内でバンドを組んで練習し、ほぼ毎月行うサークルの定期ライブに出演します。また弾き語りなどさまざまなジャンルで活動しています。

● 劇団TAC

普段は公演に向けた練習をしたり、文化祭ではお化け屋敷を出展したりしています。年2回の定期公演では、ギャグ・コント系の台本を2回公演しています。

● 裏千家「茶道部」

常磐短期大学の設立当初からあるサークルです。明るく和気あいあいとした雰囲気のおかげで、おもてなしの心を楽しく学べます。

● 文藝部

作品を通して表現することが目標です。活動は文藝誌「LINE」の制作発表のほか、ビブリオバトルへの参加や部員の企画イベントなどいろいろです。

愛好会

● 卓球ラバース

週1~2回放課後に体育館で卓球の練習をしているほか、夏の合宿やときわ祭への出店など、各種イベントを通して部員同士の親睦を深めています。

● ゴミ拾いボランティア「ピッカー」

主な活動として、月に1回ゴミ拾いを行っているほか、今後は「ときわ祭」などのイベントにも積極的に参加する予定です。

● 小原流礼法「華道部」

小原流礼法に則って、週に一度稽古をしています。少人数のため、じっくり教わりながら、季節ごとのお花を生け、楽しく活動しています。

● ボランティアサークル「CVC」

県立こども病院での学習ボランティアを中心に、黄門祭りや水戸市産業祭などの水戸市のイベントでもボランティア活動を行っています。

● 手芸サークル「Peluche(プリッシュ)」

ピアスやネックレスといったアクセサリやシュシュ・ヘアゴムなどのヘアアクセサリ、衣装製作などが主な活動。ときわ祭では販売もしています。

● 茨城県味噌研究会

健康栄養学科限定のサークル。味噌の販売・流通の研究やレシピ開発、味噌の学術的な研究がメイン。「ときわ祭」では模擬店での販売も行います。

● 料理サークル「T.K.C」

主に料理の企画やプランを考え、イベントに参加しています。企画、制作、販売などさまざまな立場を経験でき、地域との交流を深めています。

● ゲームサークル「トキワゲームスト」

主に90年代以前のゲームソフトウェア、ハードウェアを体験、調査しながら、未知のゲームとの出会いを楽しむサークルです。

● スポーツチャンバラ「C&B」

身体を動かすのが好きな人が集まってスポーツチャンバラの練習をしています。また、部員が企画したイベントを通して大学生生活を盛り上げます。

● 就職活動対策サークル「Lumière(ルミエール)」

就職活動に向けて、みんなでSPI試験や公務員試験などの筆記試験や資格試験のための勉強をしたり、情報交換をしたりしています。

● フットサルサークル「ANFIELD.FC」

経験者、初心者、女子も楽しめるフットサルのサークルです。練習や鹿島アントラーズの試合観戦などを中心に活動しています。

● バスケットボールサークル「ちいかわ〜」

バスケットボール好きが集まって、毎週水曜日の夕方18時~21時、体育館で練習しています。一緒にバスケットボールの参加を待っています。

この他にもさまざまなサークルが活躍しています!



「学食はスイーツもおススメ。数量限定なので、授業が終わったらダッシュしています」
心理学科3年 小木 里紗

4 みそラーメン

¥340
特製みそを使ったラーメン。もやしがつぶりのって栄養バランスもばっちり！



「自分で小鉢やデザートが選べるのがポイント。ほかにも2か所学食があって毎日あきないです」
心理学科3年 箕川 明日夏

「学食は、やっぱりでき立てのあたたかいモノが食べられるのが一番の魅力です」
経営学科3年 堀江 亮

常磐大学・短期大学

見和キャンパスには4つの食堂やカフェがあり、毎日豊富なメニューを提供しています。今回は646席のキャパシティを持つ1棟学生食堂をご紹介します。



1 唐揚げ丼

¥400
唐揚げに甘たれをかけてボリュームたっぷり。お好みでマヨネーズをプラスするとさらにおいしさアップ！



3 ためぎうどん

¥300
定番うどんの中で一番人気。安い・うまい・満足の一品。

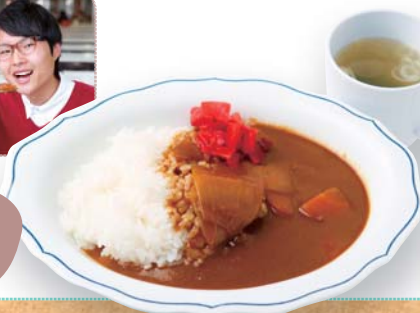


2 オリジナルカレー

¥310
カレー粉をオリジナルにブレンドして作ったスパイシーなカレー。ちょっとピリ辛の大人味が人気。



「カレー店を食べ歩きするのが趣味。学食のカレーは街のお店に負けないおいしさです」
心理学科3年 過足 陵磨



5 麻婆豆腐丼

¥400
辛さを少し抑えたオリジナルのたれで作った麻婆豆腐を人気の丼にした一品。



「独り暮らしをしているので、お昼は学食が頼り、栄養バランスもとれていて助かります」
教育学科3年 沼田 一寿

発表!!

ランチメニュー 人気ランキング

おいしい、楽しい、学びのエネルギー。

「学生や生徒たちはお昼にどんなメニューを食べているのを知りたい」
巻末アンケートにお寄せいただいたリクエストにお応えし、学食メニュー・購買のパンの人気ランキングを発表します。味と栄養、ボリュームの絶妙なバランスが人気の秘密です。

常磐大学高等学校

常磐大学高校では3時間目と4時間目の間の10分休憩に買いに来る生徒が多いようです。基本的にお弁当持参なので、食後のデザート感覚で食べられる甘いパンが人気です。



1 スイートチョコレート

¥130
クリームをサンドしたパンをたっぷりのチョコでコーティングした菓子パンです。



2 メロンパン

¥130
定番中の定番。生クリームをはさんだ、さらにリッチなクリームメロンパンもあります。



3 ハムチーズパン

¥190
ハムチーズカツをはさんだ、おかずパン。ボリュームがあるのでどちらかと言えば男子に人気。

1

ローストチキンとポテトの包焼き
¥150
ローストチキンとポテトをトルティーヤ風の生地で包んで焼いたごちそうパン。



智学館中等教育学校

智学館の場合、お昼は給食なので、パン売り場が一番にぎわう時間帯は部活動が始まる前。放課後の腹ごしらえに食べるためか、しっかり食べ応えのあるパンが上位にランキングしています。

2

おいしいUFOパン
¥110
外はさっくり、中はおもちもちで、一度に2つの食感が楽しめる菓子パンです。



3

目玉焼きトースト
¥150
たまごとベーコンを合わせた、食べ応えのあるトーストです。



News and Topics

学生、生徒、園児たちは日々学び、経験し、成長を続けています。
このページでは学校法人常磐大学の各学校の取り組みやイベントの様子をはじめ、
日々の活動とその成果をお知らせします。

茨城県社会福祉協議会と 包括連携協定を締結。福祉の人材育成と 研究活動面の連携を進めていきます。

本学と茨城県社会福祉協議会（県社協）は福祉に関わる人材の育成や地域の福祉活動を活発にすることを旨として、2月26日、包括連携協定を結びました。県社協が大学・短期大学と協定を結ぶのは、茨城県内では初めてのケースです。この協定により、福祉・介護職の離職率が高い要因を探る調査研究などで協力したり、学生の福祉施設への就職支援やインターンシップを拡充したりするなど、連携を強化する予定です。締結式で森征一学長は「これまでの本学の実績を評価していただき光栄です。福祉社会の更なる実現に向けて人材育成・社会貢献をしていきたい」と述べ、県社協の関正夫会長は、「障がい者・高齢者・幼児らをサポートできるような地域社会がますますしっかりした形で発展できれば」と述べられました。

大学・短大



幼稚園

進学を前に「小学校の日」を体験。
春からの小学校生活をスムーズに
スタートできたことでしょう。

2月13日、小学校就学に備え、スムーズな接続を図ることを目的に、今年度も年長組で「小学校の日」を行いました。いつもはさくら組、しらかば組の子どもたちが、「1ねんさくらぐみ・1ねんしらかばぐみ」に変身!! それだけで、すっかり気分は小学生です。1時間目、休み時間、2時間目、給食、昼休み…と、小学校でのタイムスケジュールに合わせた活動を計画。また、休み時間にはお手洗いを済ませたり、ちょっと休憩したりと、次の活動まで自分の席に座って待つ子どもたちに、私たち教師もびっくり! “1年生”ということを一ひとりがイメージし、意識しているようでした。夏には保護者の皆さんが同窓会を企画してくれています。みんなに会える日を楽しみに待っています。

6年間をともに過ごした 智学館の第1期生68人が 晴れやかに卒業式を迎えました。

3月2日、創設6年を経た智学館中等教育学校で、初めての卒業式が行われました。卒業生代表の宮内一騎さんは、「1期生として歴史をつくる経験ができた」と語り、式を終えた後は第1期生68人が入学時に中庭に埋めたタイムカプセルを掘り起こしました。入学時の夢を大切になんげかなえた生徒も、将来を模索し、ここで進路を見つけた生徒も、ともに実り多い6年間だったと思います。また、それに先立つ2月27日には、在校生による「送別会」が開催されました。卒業生への想いを、学年ごとに合唱や映像などのかたちにして発表し、本校を巣立っていく先輩たちへのエールとしました。懐かしの先生方からのビデオメッセージに驚いたり、笑いあり涙ありの送別会になりました。卒業生の皆さんの活躍を楽しみにしています。

智学館





大学・短大

東日本大震災から3年。 「水戸市シェイクアウト訓練」に合わせて 3月13日避難訓練を実施しました。

水戸市シェイクアウト訓練では、教室に集まった教員や学生、各部署でデスクワークをしている事務職員が参加しました。ラジオ放送で訓練のための地震発生を聞くと、机の下にもぐって頭を守ったり、激しい揺れを想定して机の脚を持ちたりなど、身を守る方法を実際に行いながら確認しました。続く火災発生時の避難訓練では、A棟1階の実験室から火災が発生したとの想定で、職員による初期消火の操作確認、A棟の各教室へ流す非常放送の実演、校内の避難所への誘導、保健室での救護確認、避難所における学生や教職員の点呼・人数把握、逃げ遅れの確認など、あらゆる場合を想定して一連の流れを確認しました。参加者による振り返りシートなどをもとに、さらに訓練を重ね、安全・安心な学校づくりに努めます。



大学

実社会でスキルを磨く産学連携プロジェクト。 経営学科の「ビジネス専門実習」が、 水戸京成百貨店の協力のもとで開催されました。

1月11・12日、水戸京成百貨店において、国際学部経営学科の3年生が「ビジネス専門実習」で企画したイベントを開催しました。この産学連携プロジェクトは、企画から運営、プロモーションなど、すべて学生が主体的に行い、学んできたマネジメントやマーケティングの力を試すことが目的。今回は、①女子受けするファッションの提案、②キッチン便利グッズの実演販売、③男性の育児に関する関心を高める育児グッズの販促企画、の3つのプランを実施しました。水戸京成百貨店・営業企画担当の糸井隆彦さんは「集客はもちろん売り上げも重視したのですが、一定の成果を出せたと思います。社会の厳しさに直面し、それをクリアする大事さを感じてもらえたのではないだろうか」と、学生たちの取り組みを評価してくださいました。



大学

夜・梅・祭ならではの体験ができる 「夜梅おみくじ」プロジェクト！ 大好評でした。

人間科学部石田ゼミナールの学生有志チームが、3月15日「第9回夜・梅・祭」において、「夜梅おみくじ」を企画・制作、販売しました。3年前、水戸青年会議所からの誘いをきっかけとして始まったこの企画は毎年進化し、今年は占い師パフォーマンスやオリジナル缶バッジの配布などを取り入れて、さらに魅力をアップしました。しおり型のおみくじは、梅言葉とともにおみくじを記念として残してもらおうと狙い。さらに、大吉・大凶を引いた方には特製缶バッジのプレゼントも実施し、おみくじの結果そのものも思い出として残せるよう工夫しました。運勢や園内のお薦めスポットなどが書かれたおみくじとパフォーマンスが大好評で、訪れた皆さんを楽しませていました。



高校

特進コースの学習合宿を実施。 自ら立てた学習計画に向かう姿に 頼もしさがあふれていました。

3月27日～29日、2泊3日の日程で「学習合宿」を実施しました。合宿場所となったのは常陸太田市にある西山研修所です。今回の合宿は、新2年生の特進コースに在籍する生徒を対象に行われ、63名が参加しました。国立大学や難関私立大学を目指す生徒たちが、自ら立てた学習計画のもとに、実力の向上をはかる目的で企画したこの学習合宿は、今年で早くも4回目を数えることになりました。それぞれが自分と向き合いながら、同じ目標に向かう仲間と刺激し合い、励まし合い、切磋琢磨する生徒たちの姿に、頼もしさを感じる3日間でした。



幼稚園

目標を立ててがんばったことに拍手。
みんなが練習の成果を発揮した
「なわとび大会」でした。

寒さに負けず練習をがんばってきた成果を見せる「なわとび大会」が2月4日に行われました。まずは各学年の代表によるいろいろな跳ぶ方の発表です。大人でも難しいスピードで跳ぶ子どももいて、会場は盛り上がりました。年少さんが数人1回跳びにチャレンジした後は、いよいよ記録に挑戦!クラスごとに集まって精いっぱいがんばる友達を応援しました。結果はさまざまでしたが、これまでの取り組みはかけがえのない経験になったことでしょう。これからも新しい目標をもって「なわとび」に挑戦していきましょう。



大学院

心理臨床センター主催により
「解決志向ブリーフセラピー」の
公開講演会を開催しました。

3月2日、目白大学人間学部心理カウンセリング学科および同大学院心理学研究科臨床心理学専攻教授で臨床心理士の黒沢幸子氏をお招きし、「「解決志向」を活かした子育て支援」というテーマで公開講演会を開催しました。解決志向の基本は、悪いところを直すのではなく、良いところを見出し伸ばすこと。黒沢氏は「子どもを伸ばす5つのルール」を紹介しつつ、来場されていた学校の教員や施設の職員などの方々に「子どもたちの小さな変化を見逃さず、繰り返して伸ばす子育てを実践してみてください」と呼びかけていました。



高校

新入生に向けて高校の部活動を紹介。
上級生の熱意が伝わる
個性豊かな発表になりました。

4月11日、在校生による新入生への部活動紹介がありました。開会セレモニーでは、各部活動代表者たちが、TOKIWAマスコットキャラクター「ときわんこ」を中心に手をつないで登場し、常磐大学高等学校の「絆」を表現しました。その後は、各部の活動の特徴を伝えるために、部員たちが映像やパフォーマンスを駆使した発表を行い、個性あふれる活動紹介になりました。上級生の熱意は新入生にしっかりと届いたことでしょう。新たな仲間が加わって、部活動がさらに活気づくことが期待されます。



学習館

歴史館の特別展を観覧。
貴重な資料を見る機会を得て、
学びへの大きな刺激になりました。

1月22日、前期課程生が県立歴史館で校外学習を行いました。特別展「資料が語る日本の歴史 茨城のあゆみ」は、国立公文書館所蔵の貴重な資料を展示する企画で、めったに目にする機会のない「大日本帝国憲法(明治憲法)」や「民撰議院設立建白書」などを間近で見ることができました。また、国立公文書館の職員の方から説明を受け、日本と茨城の歴史を学びました。敷地内の旧水海道小学校の校舎では、昔の給食を学んだり、150年前に作られたピアノを弾かせていただいたり、有意義な校外学習を行うことができました。



幼稚園

「春まつりの集い」の楽しいひととき。
人形劇団オフィスやまいもさんによる
「ヘンゼルとグレーテル」を観劇しました。

2月28日「春まつりの集い」の観劇の日、遊戯室には大道具などがセットしてありました。いつもと違う雰囲気気付いた子どもたちは、ソワソワワクワク。演目の「ヘンゼルとグレーテル」のお話では、リアルに動く人形の姿に、どの子どもたちも目をキラキラさせながら吸い込まれるように見入っていました。魔女が登場する場面にさしかかると、その迫力に息をのむ子もいましたが、お話の内容に大笑いしたり、時には声を上げたりしていた子どもたち。本当に楽しいひとときを過ごすことができました。



大・短・院

常磐大学、大学院、短期大学が
教育活動の質的向上を目指して
それぞれ2013年度FDフォーラム等を開催。

2月14日、7回目となる大学のFDフォーラムを開催。文部科学省で執務経験のある吉川晃先生の講演と分科会のグループ討議を行い、本学の現状や今後の方向性について話し合いました。続く2月26日には2回目となる大学院のFDフォーラムを開き、柄澤FD委員会委員と茨城大学名誉教授である鎌田彰仁先生から提供された話題をもとに全体討論会で活発な意見交換がなされました。3月3日には短期大学のFD研究会を開き、2部構成で前半は瀧口副学長による「第36回私立大学の教育・研究充実に関する研究会(短期大学の部)」の報告、後半は幼児教育保育学科の室谷直子准教授による講演を行いました。



大学

「水戸の梅まつり・梅酒大会」で
本学学生ボランティアが
運営スタッフとして貢献しました。

3月7~9日、水戸観光協会主催による「水戸の梅まつり・梅酒大会」に、健康栄養学科の学生が多く所属する料理サークル(T.K.C)、経営学科の村中ゼミ、地域政策学科の元木ゼミなどの学生有志が運営スタッフとして参加しました。学生たちは場内の案内や入場整理、試飲係などで大活躍。来場したお客さまに積極的に声を掛け、笑顔で接する様子が見られました。参加した学生達からは「地域のイベントに貢献できてうれしいし、これからもこういう機会があれば参加したい」という感想が寄せられました。



大学

健康栄養学科3年武守幸恵さんが「ヘルシーメニューコンクール」で見事、優秀賞を受賞しました。

1月17日に開催された「いばらき食育推進大会」で、武守さんが受賞したのは、茨城県と公益社団法人茨城県栄養士会による「ヘルシーメニューコンクール」主菜部門。減塩や野菜たっぷりを意識したメニューが求められたこのコンクールで、武守さんは、豚ひき肉に椎茸と枝豆が入った2種類の具をレンコンではさんだ「ボリュームたっぷり☆はさみ揚げ」を提案。「ボリュームたっぷり」なのに、「ヘルシー」にできたポイントは、歯ごたえがあり低カロリー食品であるレンコンを使用したこと。今回の受賞は、管理栄養士を目指す武守さんにとって大いに自信になったことでしょう。



智学館

常磐大学幼稚園の園児を招いて「天体観測会」を開催。天文への興味を刺激しました。

2月17日、智学館中等教育学校において、常磐大学幼稚園の園児を対象とした天体観測会と学校見学会を開催しました。校内見学ではコンピュータールームや図書室など、智学館の10あまりの施設を見学しました。また、天体観測会では、あいにくの薄曇りでしたが、ときおり雲の切れ間からのぞく月を観測することができました。直径30cmという慣れない大型望遠鏡に苦戦しながらも、月のクレーターを見つけると、園児・保護者の方々から感嘆の声があがりました。天文学への興味関心が高まる体験をしていただけたと思います。



高校

2年生が修学旅行に出発。天候にも恵まれ、沖縄の自然と歴史、伝統文化を学びました。

3月12日(後発隊は13日)から待望の修学旅行に行ってきました。3泊4日の沖縄への修学旅行は、仲間との一生の思い出となる大切なイベントです。沖縄では、戦跡を訪れて平和の尊さを学び、民泊体験をした伊江島では、お世話になった各家庭で、沖縄の文化や人々の温かさに触れ、美しい自然を満喫しました。最終日に訪れた首里城では、沖縄独特の文化の成り立ちを感じることができました。日常ではなかなか経験できない貴重な体験をして、生徒たちはさまざまなことを学び、考え、思い出を心に深く刻みました。



幼稚園

右・左・もういちど右を確認し、車が来なかったら横断。実際に体験し安全意識を高めることができました。

1月21日、水戸警察署の女性警察官を招いて「交通安全教室」を行いました。手作りのパネルを使った信号機の約束事のお話では、車の信号と歩行者用の信号の違いなどを学びました。模擬横断歩道を使った横断の練習では、安全を意識した道の歩き方について丁寧に指導していただきました。年長さんたちが道路の右端を1列で歩く姿や、腕をピンと伸ばして横断歩道を渡る姿は、小学校に登校する姿と重なり、感慨深いものがありました。教職員も含めて、日頃から交通安全に対する意識を高めていきたいと思っています。



智学館

スポーツ&ホビーの発表会で1年間の成果を発揮。会場は大いに盛り上がりました。

3月19日、前期課程生によるスポーツ&ホビーの発表会が行われました。ダンスクラブや消しゴムはんこクラブ、美術クラブやマリンバクラブなど、さまざまなクラブがこれまでの活動や練習の成果を遺憾なく発揮し、感動的な発表をしました。器楽やマリンバ、ハンドベルの各クラブによるうっとりするような音色、パソコンクラブの驚くような技術、そしてダンスクラブの魅力的な踊りに、会場は大いに盛り上がりました。ここでの達成感を、さらなる成長につなげてほしいと思います。



高校

1年生が校外学習として劇団四季のミュージカル「ライオンキング」を鑑賞しました。

3月14日、校外学習に出発。午前中は、科学未来館でのプラネタリウム見学やスカイツリーと共にぎわうソラマチ散策、カップヌードルミュージアムでチキンラーメン製造体験など、それぞれのクラスで計画した内容を楽しみました。そして午後からはいよいよライオンキング鑑賞です。人が作り上げる動物たちの動きや歌、舞台設備に圧倒され、これが人の手によって生み出されたものなのかという驚きや迫真の演技に魅了されました。帰ってきて真似をする生徒が出るほど充実した内容で、面白さと感動が1年生全体を包み込みました。

Spotlight

地域や世界で力を試し、さまざまな活動を通して実践的に学ぶ。また、優れた研究成果を社会に発信する。こうした学内外で行われている活発な活動にスポットを当ててご紹介します。



常磐大学は社会心理学関係の授業や実験設備などが整っており、社会心理学の研究に恵まれた環境があります。ぜひ、一緒に研究しましょう！

名前	タバタ
住所	茨城県
性別	男性
年齢	30代
家族構成	
性格	シャイ
普段の生活/パターン	
現在の悩み事	

【プロフィール編集】

今回の実験では、プロフィールに入力できる自己情報は名前、住所、性別、年齢、家族構成、性格、生活パターン、現在の悩み事の8つでした。実験ではこの画面に自由にプロフィールを記入してもらい、情報が入力された項目数を分析しました。

インターネットで自己情報を公開する要因の検討が過度な自己情報公開の抑止に役立つと考えています。

人間科学部 コミュニケーション学科 助教 太幡 直也 博士(心理学)

研究テーマ: 自己情報へのプライバシー意識が迷惑行為被害に与える影響
平成24~25年度 日本学術振興会・科学研究費補助金 若手研究(B)に採択

会ったことがない他大学の学生とチャットで会話するとき、どこまで自己情報を公開する？

専門は社会心理学です。学生時代から対人コミュニケーションに興味があり、大学院では、ウソをついているときの心理など、「隠す」心理をテーマに研究を行っていました。また、プライバシーに関する研究についても関心を持ち、現在はインターネット(以下、ネット)上の個人情報取り扱いに関する研究を進めています。

今回、科研費の補助対象となったテーマでは、未知の他者に対して、ネット上で自己情報を公開する要因は何かを、プライバシー意識の点から研究を進めていました。ここでは、相手と直接会う可能性があるか否かで、自己情報を公開する意識はどう変化するかを明らかにすることを狙いといた実験を紹介します。

この実験では、架空の場面を設定し、実験参加者の行動を測定しています。実験に参加した学生には、まだ会ったことがない他大学の学生とチャットで会話をしてもらう、という設定で、そのためにパソコン画面上で相手に示すプロフィールを作成してもらうと告げ、示したい情報のみ記入してほしいと求めました。また、そのうち半数の実験参加者には、今後もしかしたらチャットする人と直接会う機会があるかもしれない、と告げてからプロフィールを作成してもらいました。

社会心理学の実験には、このようにシナリオを考え、状況設定を工夫するという特徴があります。質問紙による調査だけではわからない新たな視点を見出せるところが興味深い点だと考えています。

過剰に自己情報を公開してしまうことを防ぐ
具体策が求められます

これまでの私の研究で、ネット上の自己情報は、自伝的情報(過去の出来事など)、属性情報(性別など)、識別情報(氏名など)、暗証情報(カード番号など)に分けられることが分かっています。今回の実験で記入されたプロフィールを調べると、チャットする人と直接会う機会がある可能性によって、自己情報の公開に関わる要因が違うことが分かりました。直接会う可能性が低い場合、識別情報へのプライバシー意識が低い人が多くの項目を書いていた。一方、直接会う可能性が高い場合、相手とコミュニケーションすることへの期待が高い人が多くの項目を書いていた。この結果は、特定の相手と関係が深まる時、自己情報へのプライバシー意識を乗り越えて自己情報を公開しやすくなることを示しています。個人情報の扱いに関する知識を授業で学んでいる大学生であっても、こうした状況を設定すると、住所や家族構成を詳細に記入してしまう危険があります。これも、実際に行動を測定したからこそ判明したことであり、情報リテラシー教育の重要性を再認識することにつながりました。

近年、ネット上で個人情報を公開することにより、望まない他者から繰り返し連絡を受けたり、勧誘を受けたりする事例が散見されます。未知の他者への過度の情報公開を抑止するための、具体策を検討していくことが求められると言えるでしょう。

実施した研究の成果を、社会に還元することは研究者の使命です。これまでの研究と同様に、この実験結果も学術論文にまとめ、より多くの人に向けて発信するよう、準備を進めています。

Spotlight
01
.....
研究室

練習に練習を重ねて迎えたステージ。 1年間の活動の成果を発揮する達成感は格別です。

智学館 合唱部 平成25年度部長 田代 咲紀 智学館中等教育学校6年次



ミュージカル「メリーポピンズ」にも挑戦。演技も歌も英語なので、ネイティブの先生に丁寧に指導いただきました。原語で歌うリズムが良く、英語で歌えたということが部員の自信にもなります。



日々の練習の成果を
智学館フェスティバル(文化祭)や
コンサートで発揮しました。

私たち合唱部は週4回、月、水、金、土曜日の放課後を使って練習しています。合唱の楽しさは、やはりステージに立つこと。日々の練習の成果を智学館フェスティバルやコンサートで発揮できたときは達成感でいっぱいになります。昨年は先輩たちが引退した後、部長という役目を任せられ、どのように練習を進めるか迷うこともありましたが、自分の知っていることを全部伝えようと考えて取り組みました。その集大成として、3月29日、第2回となる合唱コンサートを茨城県総合福祉会館コミュニティホールで開催することができました。本番では緊張しながらも、満足のいく発表ができたと思います。反省点はステージに乗る機会をもっと設けて舞台慣れしておけば良かったということ。私たち6年次は今回を最後に引退し、これからは卒業後の進路に向かって準備をはじめますが、後輩には音楽を好きな気持ちを大切にしながら、コンクールなどにも積極的に参加して、ステージ度胸を磨いてほしいと思います。

常磐大学の教員が執筆した さまざまな分野の著書をご紹介します。



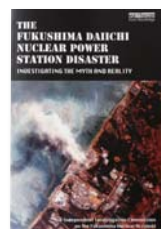
- ① **社会福祉学習双書2014**
第13巻 法学
権利擁護と成年後見制度 / 更生保護制度
- ② 藤本 哲也
被害者学研究科 教授
- ③ 「社会福祉学習双書」編集委員会 編
- ④ 2014年2月
- ⑤ 全国社会福祉協議会
- 本書は社会福祉研究及び社会福祉実践の今日的な諸課題を体系的に叙述しており、社会福祉士等の教育カリキュラムとシラバスの見直しに準拠したテキストです。



- 新教職教育講座 第3巻
- ① **学校教育のカリキュラムと方法**
- ② 吉江 森男
人間科学部 教授
- ③ 田中統治・大高泉 編
- ④ 2014年12月
- ⑤ 協同出版
- 教職教育講座8巻の第3巻で、カリキュラムや教育方法の本質を理解しつつ、多様な理論や考えに視野を広げ、実践的指導力の形成にも資するように構成されています。



- ① **オタク的想像力のリミット**
— 歴史・空間・交流から問う
- ② 石田 喜美
人間科学部 専任講師
- ③ 宮台真司 監修
- ④ 2014年3月
- ⑤ 筑摩書房
- 鉄道オタクや腐女子、コスプレイヤーなど、変容し拡張しつつ続ける巨大な文化現象としてのオタクを、各分野の第一線で活躍する研究者が検証。21世紀オタク研究のリーディングス。



- ① **The Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Disaster**
: Investigating the Myth and Reality
: (邦題:「福島第一原発事故 神話と現実」)
- ② 砂金 祐年
コミュニティ振興学部 准教授
- ③ The Independent Investigation Commission on the Fukushima Nuclear Accident
福島原発事故独立検証委員会 編
- ④ 2014年
- ⑤ Routledge ラウトレッジ出版
- 2012年に出版された福島原発事故独立検証委員会(通称、民間事故調)の報告書の英語版。本書は報告書の内容に加え原子力行政の歴史や「原子カムラ」の構造にも言及しています。



- ① **経営と宗教**
— メタ理念の諸相
- ② 村山 元理
国際学部 教授
- ③ 住原則也 編
- ④ 2014年3月
- ⑤ 東方出版
- 経営者と宗教との関わりを「メタ理念」から再考した11章の経営人類学的研究。ビジネスの公共性への理解が深まります。村山は「財界リーダー・中島久万吉と仏教的精神」を寄稿。



- ① **危機管理学**
社会運営とガバナンスのこれから
- ② 砂金 祐年
コミュニティ振興学部 准教授
- ③ 中野章・市川宏雄 編著
- ④ 2014年2月
- ⑤ 第一法規
- 東日本大震災以後、危機管理に関する研究が増加しましたが、その多くは事例研究にとどまっています。本書は政治学行政学の観点から危機管理を多角的に分析し、その理論化を試みます。

① 著書名 ② 氏名・所属・職位 ③ 著者・編者等
④ 発行年 ⑤ 発行所



- 20世紀英文学研究 X
- ① **英文学と他者**
- ② 外山 健二
コミュニティ振興学部 准教授
- ③ 20世紀英文学研究会 編
- ④ 2014年3月
- ⑤ 金星堂
- 本書は「英文学と他者」をめぐる論集です。外山は「非人称的自己と他者—ポール・ボウルズの「雨は降るがままだにせよ」におけるタイマー」で自己と他者を論じています。



- ① **色と色彩の心理学**
- ② 宮田 久美子
キャリア教養学科 教授
- ③ 松田隆夫・高橋晋也・宮田久美子・松田博子 共著
- ④ 2014年3月
- ⑤ 培風館
- 色に関するテーマ(光や色の基礎知識、色覚の生理学、色の表示、色の知覚的性質と感性情動的性質、色彩調和論、配色技法等)を心理学の立場から広く系統的に解説しました。

★ 常磐大学&水戸ホーリーホック
コラボデー2014 8/24(日)



大学院

★ 進学説明会 7/19(土)

大学・短大

★ 保護者会 6/14(土)

★ オープンキャンパス
..... 6/21(土)・7/26(土)・8/9(土)

高校

★ クラスマッチ 6/26(木)・27(金)

★ オープンスクール
..... 7/25(金)・26(土)・27(日)

★ 体験入部 8/15(金)

智学館

★ 智学館カップ(体育祭) 6/22(日)

★ オープンスクール
..... 6/8(日)・8/24(日)

★ 学校説明会 6/28(土)・7/27(日)

幼稚園

★ 親子で遊ぶ日 6/21(土)

★ 入園説明会 ~みんなで遊ぼう~ ... 7/15(火)

★ 夏まつりの集い 7/26(土)

諸澤幸雄奨学金

奨学生決定のお知らせ

2014年3月に開催した諸澤幸雄奨学金奨学生決定通知書授与式について、以下のとおりご報告いたします。

- 高等学校… I種奨学生 5名
- 中等教育学校… I種奨学生 1名
… II種奨学生 1名



アンケートご協力をお願い

- ① 印象に残った記事とその理由など
- ② 今後、広報誌で取り上げてほしいテーマなど

皆さまからのご意見・ご感想をお寄せください。

※名前、住所、本学との関係(在籍者の場合、所属する学校名)も併せてご記載ください。

e-mail:
kikaku@tokiwa.ac.jp

〒310-8585
茨城県水戸市見和1丁目430-1

★お寄せいただいた方に、
抽選で20名様に
常磐大学オリジナルグッズを
差し上げます。



お知らせ

2014年5月よりファミリーマート常磐大学店にて、TOKIWAマスコットキャラクター「ときわんこ」のクリアファイル(全3種類)の販売を開始しました。



ファミリーマート常磐大学店

